

XJive PRO mini モデル 操作説明書

目次

1. はじめに	2
1.1. 装置仕様	2
1.2. 装置前面/背面	3
1.3. 電源オン / オフ	3
2. ウェブ管理画面	4
2.1. アクセス	4
2.2. ダッシュボード	5
2.3. デコード設定 1	8
2.4. ネットワーク設定	10
2.5. 時刻設定	12
2.6. Windows 共有設定	13
2.7. 再起動 / 停止	15
2.8. システム情報	16

変更履歴

日付	内容
2025/9/1	初版

1. はじめに

本書は、「XJive PRO mini モデル」の操作方法について説明しています。

1.1. 装置仕様

本装置の仕様は以下の通りです。

映像コーデック	• MPEG-2 • H.264/AVC • H.265/HEVC Main/Main10 4:2:0
音声コーデック	• AAC
コンテナ	• MPEG2 TS (拡張子 .ts) • MP4 (拡張子 .mp4)
解像度/フレームレート	• 720x480/59.94i (SD) • 1440x1080/59.94i • 1920x1080/59.94P, 59.94i (フル HD)
映像出力	• HD-SDI: 1920x1080@59.94i 固定出力 • 3G-SDI: 1920x1080@59.94p 固定出力
音声出力	SDI 重畳
字幕表示	ARIB 字幕 表示/非表示
伝送方式	• RTP/UDP (ProMPEG FEC 10x10 対応) • SRT • ローカルファイル再生
LAN	RJ45 Gigabit Ethernet LAN x2 • LAN1(eth0): ストリーム受信用 • LAN2(eth1): 管理用 (初期値: 192.168.100.1/24)
内蔵 SSD サイズ	500GB
筐体サイズ	165mm (幅) x 43mm (高さ) x 190mm (長さ)
電源	90W AC アダプター

※ 仕様を満たす全ての素材の再生を保証するものではありません。

1.2. 装置前面/背面

使用するポートは以下の図のとおりです。その他のポートは使用しません。



ハードウェアは出荷時期によって異なります。予告なく変更される場合があります。

1.3. 電源オン / オフ

装置前面の電源ボタンを押して『XJive PRO』を起動します。

装置の電源を落とすには、電源ボタンを押すか、ウェブ管理画面の「システム設定」→「再起動/停止」にある「システムの停止」ボタンを押します。

2. ウェブ管理画面

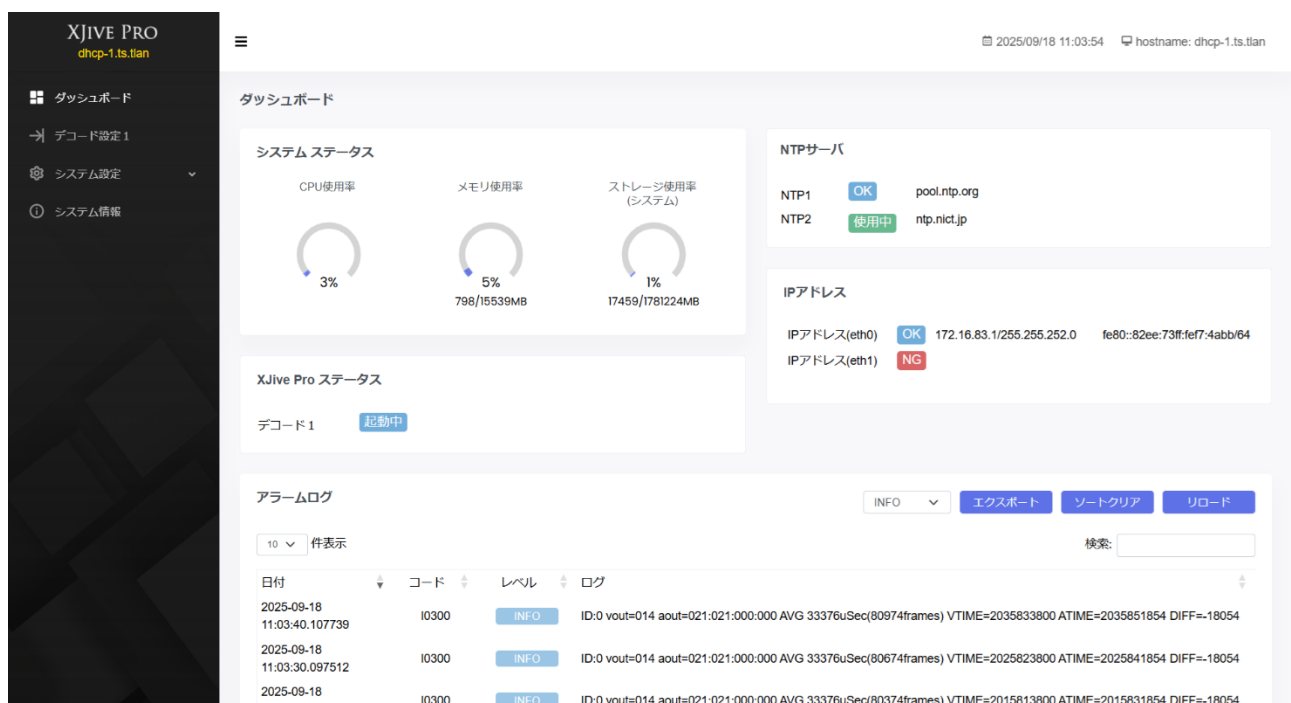
2.1. アクセス

『XJive PRO』のウェブ管理画面へアクセスするには、『XJive PRO』の管理ポート(eth1)に設定されている IP アドレスにブラウザからアクセスします。

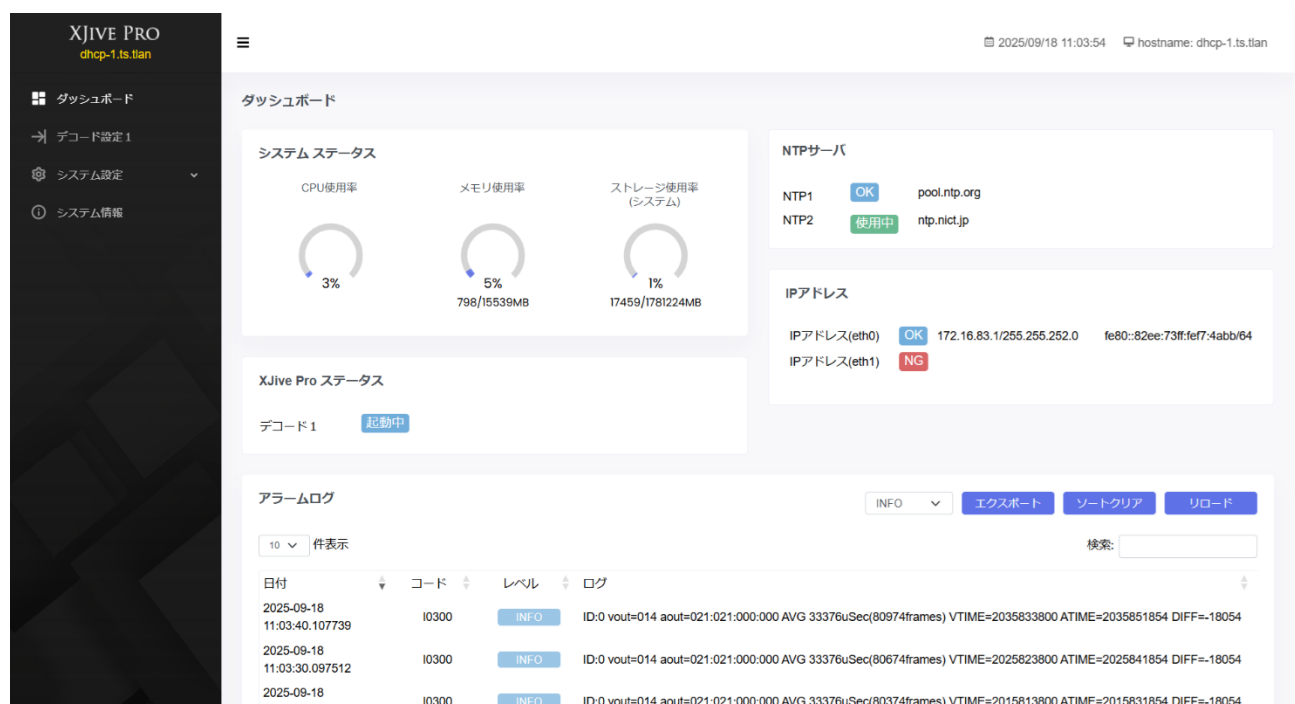
出荷時の初期設定では以下の URL でアクセス可能です。

http://192.168.100.1/

ウェブ管理画面へアクセスすると、『XJive PRO』のダッシュボードが表示されます。



2.2. ダッシュボード



ダッシュボードは、『XJive PRO』のウェブ管理画面へアクセスしたときに表示されるトップページです。『XJive PRO』のログやシステムの状態を確認することが可能です。

システムステータス

CPU 使用率、メモリ使用率、ストレージ使用率をグラフィカルに表示します。



NTP サーバ

指定した NTP サーバとの同期状態を「使用中」「OK」「NG」で表示します。

NTP1 OK pool.ntp.org
NTP2 使用中 ntp.nict.jp

状態	説明
使用中	NTP サーバと接続し、現在、同期で使用している状態です。
OK	NTP サーバと接続可能ですが、現在、時刻同期で使用されていない状態です。
NG	NTP サーバと接続できない状態です。

IP アドレス

ネットワークインターフェイスに設定されている IP アドレスおよび接続状態を「OK」「NG」「未使用」で表示します。

IPアドレス(eth0) OK 172.16.83.1/255.255.252.0 fe80::82ee:73ff:fe7:4abb/64
IPアドレス(eth1) NG

状態	説明
OK	IP アドレスが設定され、リンクしている状態です。
NG	IP アドレスが設定されているがリンクしていない状態です。
未使用	「ネットワーク設定」メニューの「起動」設定項目でネットワークインターフェイスを停止した状態です。

XJive Pro ステータス

XJive PRO の起動状態を表示します。

デコード1 起動中

状態	説明
起動中	XJive PRO のサービスが起動している状態です。
停止中	XJive PRO のサービスが停止している状態です。

ログ

『XJive PRO』のログが表示されます。

アラームログ

INFO

エクスポート

ソートクリア

リロード

10 件表示

検索:

日付	コード	レベル	ログ
2025-09-18 11:13:30.702963	I0300	INFO	ID:0 vout=014 aout=021:021:000:000 AVG 33374uSec(98674frames) VTIME=2626423800 ATIME=2626441854 DIFF=-.18054
2025-09-18 11:13:00.693039	I0300	INFO	ID:0 vout=014 aout=021:021:000:000 AVG 33374uSec(98374frames) VTIME=2616413800 ATIME=2616431854 DIFF=-.18054
2025-09-18 11:13:10.682757	I0300	INFO	ID:0 vout=014 aout=021:021:000:000 AVG 33374uSec(98074frames) VTIME=2606403800 ATIME=2606411854 DIFF=-.18054
2025-09-18 11:13:00.672748	I0300	INFO	ID:0 vout=014 aout=021:021:000:000 AVG 33374uSec(97774frames) VTIME=2596393800 ATIME=2596411854 DIFF=-.18054
2025-09-18 11:12:50.662755	I0300	INFO	ID:0 vout=014 aout=021:021:000:000 AVG 33374uSec(97474frames) VTIME=2586383800 ATIME=2586401854 DIFF=-.18054
2025-09-18 11:12:40.652527	I0300	INFO	ID:0 vout=014 aout=021:021:000:000 AVG 33374uSec(97174frames) VTIME=2576373800 ATIME=2576391854 DIFF=-.18054
2025-09-18 11:12:30.642389	I0300	INFO	ID:0 vout=014 aout=021:021:000:000 AVG 33374uSec(96874frames) VTIME=2566363800 ATIME=2566381854 DIFF=-.18054
2025-09-18 11:12:20.632375	I0300	INFO	ID:0 vout=014 aout=021:021:000:000 AVG 33374uSec(96574frames) VTIME=2556353800 ATIME=2556371854 DIFF=-.18054
2025-09-18 11:12:10.622242	I0300	INFO	ID:0 vout=014 aout=021:021:000:000 AVG 33374uSec(96274frames) VTIME=2546343800 ATIME=2546361854 DIFF=-.18054
2025-09-18 11:12:00.612223	I0300	INFO	ID:0 vout=014 aout=022:022:000:000 AVG 33374uSec(95974frames) VTIME=2536333800 ATIME=2536351854 DIFF=-.18054

41173 件中 1 から 10 まで表示

前 1 2 3 4 5 ... 4118 次

項目	説明
表示件数	ログの表示件数（20,50,100）を変更できます。
検索	ログのテキストを検索できます。
ログレベル	選択したログレベル以上のログを表示します。 ERROR, WARNING, INFO, DEBUG
エクスポート	『XJive PRO』やシステムに関連するログ(/var/log/messages 等)をダウンロードできます。
ソートクリア	ログの項目にある△ボタンを押すとログの表示をソートする事が可能です。このボタンを押すと、ソート表示をクリアします。
リロード	ログの表示を最新にします。
日付	ログの日付を表示します。
コード	ログの管理番号を表示します。
レベル	ログレベルを表示します。
ログ	ログを表示します。

2.3. デコード設定 1

XJIVE PRO
dhcp-1.ts.tlan

ダッシュボード

デコード設定 1

システム設定

システム情報

2025/09/18 11:12:49hostname: dhcp-1.ts.tlan

デコード設定 1

出力設定

SDI モードHD

SID

クローズド・キャプションOn

入力設定

入カタイプRTP

インターフェイスeth0

ポート番号50000

アドレス

ソースアドレス

SRTモードnone

SRTレーテンシー1000

SRTバスフリーズ

SRTバスフリーズキー長

FEC

起動・停止

起動On

変更を保存

キャンセル

2025 © XJive Pro

「出力設定 1」メニューの設定項目は以下の通りです。

出力設定

項目	説明
SDI モード	SDI の出力モードを指定します。指定したモード固定で出力されます。 HD: 1920x1080@59.94i 3G: 1920x1080@59.94p
SID	デコードする TS のサービス ID を指定したい場合に入力します。
クローズド・キャプション	字幕表示の有効・無効を切り替えます。

入力設定

項目	説明
入カタイプ	入カタイプを選択します。 RTP:ストリームを受信し再生する場合に選択します。 FILE:『XJive PRO』の内蔵 SSD にコピーした動画ファイルを再生する場合に選択します。
インターフェイス	ストリームを受信するネットワークインターフェイスを選択します。
ポート番号	受信するストリームの宛先ポート番号を指定します。
アドレス	受信するストリームの宛先 IP アドレスを指定します。
ソースアドレス	受信するストリームの送信元 IP アドレスを指定します。
SRT モード	SRT 通信を行う際のモードを指定します。 none: SRT 通信無効 caller: SRT Caller モードで通信します。 listener: SRT Listener モードで通信します。
SRT レーテンシ	SRT が有効の場合のみ指定可能です。 SRT のレーテンシを設定することが可能です。単位 mSec
SRT パスフレーズ	SRT が有効の場合のみ指定可能です。 SRT の暗号化パスフレーズを指定することが可能です。パスフレーズは、送出側と同じ文字列を指定してください。 非暗号化通信では必要ありません。
SRT パスフレーズキー長	SRT パスフレーズのキー長を指定します。
FEC	RTP 受信の場合のみ有効な指定です。 ProMpegFec を有効にします。

起動・停止

項目	説明
起動	『XJive PRO』サービスの起動・停止を設定します。

2.4. ネットワーク設定

ネットワーク設定

ホスト名: dhcp-1.ts.tian

デバイス: eth0

起動: ☒ ON

☐ 手動 IPv4アドレス: プリフィックス: 24

☒ DHCP 172.16.83.1

☒ 手動 IPv6アドレス: ☐ 自動 fe80::82ee:73ff:fe7:4abb/64

GW: eth0

DNS: 172.16.81.3

スタティックルート設定:

ネットワークデバイス	ネットワークアドレス	プリフィックス	ゲートウェイ	編集	削除
------------	------------	---------	--------	----	----

「ネットワーク設定」メニューの設定項目は以下の通りです。

ネットワーク設定

項目	説明
ホスト名	ホスト名を入力します。
デバイス	設定するネットワークインターフェイスを選択します。
起動	選択したネットワークインターフェイスの起動/停止を選択します。
手動/DHCP	IPv4 アドレスを自動設定するか、手動で設定するかを選択します。
IPv4 アドレス	IPv4 アドレスを入力します。
プリフィックス	IPv4 アドレスのサブネットマスクをプリフィックスで入力します。
手動/自動	IPv6 アドレスを自動設定するか、手動で設定するかを選択します。
IPv6 アドレス	IPv6 アドレスを入力します。
GW	デフォルトゲートウェイとするネットワークインターフェイスを選択します。
GW アドレス	デフォルトゲートウェイの IPv4 アドレスを入力します。
DNS	参照する DNS サーバの IPv4 アドレスを入力します。 複数の DNS サーバを指定する場合は、1 行に 1 つの IP アドレスを

	入力します。
--	--------

スタティックルートの設定

『XJive PRO』から他のサブネットへ送り出されるパケットに対してスタティックルートの設定が可能です。

スタティックルート設定 + 追加

ネットワークデバイス	ネットワークアドレス	プリフィックス	ゲートウェイ	編集	削除
eth1 ▼	192.168.100.0	24	192.168.100.1	編集	削除

「追加」ボタンをクリックし、以下のテキストボックスへ入力します。

項目	説明
ネットワークデバイス	スタティックルートを設定するネットワークインターフェイスを選択します。
ネットワークアドレス	スタティックルートのネットワークアドレスを入力します。
サブネットマスク	スタティックルートのサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	設定したスタティックルートのゲートウェイとして使用されている機器の IP アドレスを入力します。
編集	設定したスタティックルートを編集します。
削除	設定したスタティックルートを削除します。

設定完了後、「変更を保存」ボタンを押します。

2.5. 時刻設定

XJIVE PRO
dhcp-1.ts.tlan

2025/09/18 11:08:10 hostname: dhcp-1.ts.tlan

時刻設定

☐ 手動

年月日: 2025/09/18
時刻: 11:07:57

☒ NTPサーバ

NTP1: pool.ntp.org
NTP2: ntp.nict.jp

©2025 © XJive Pro

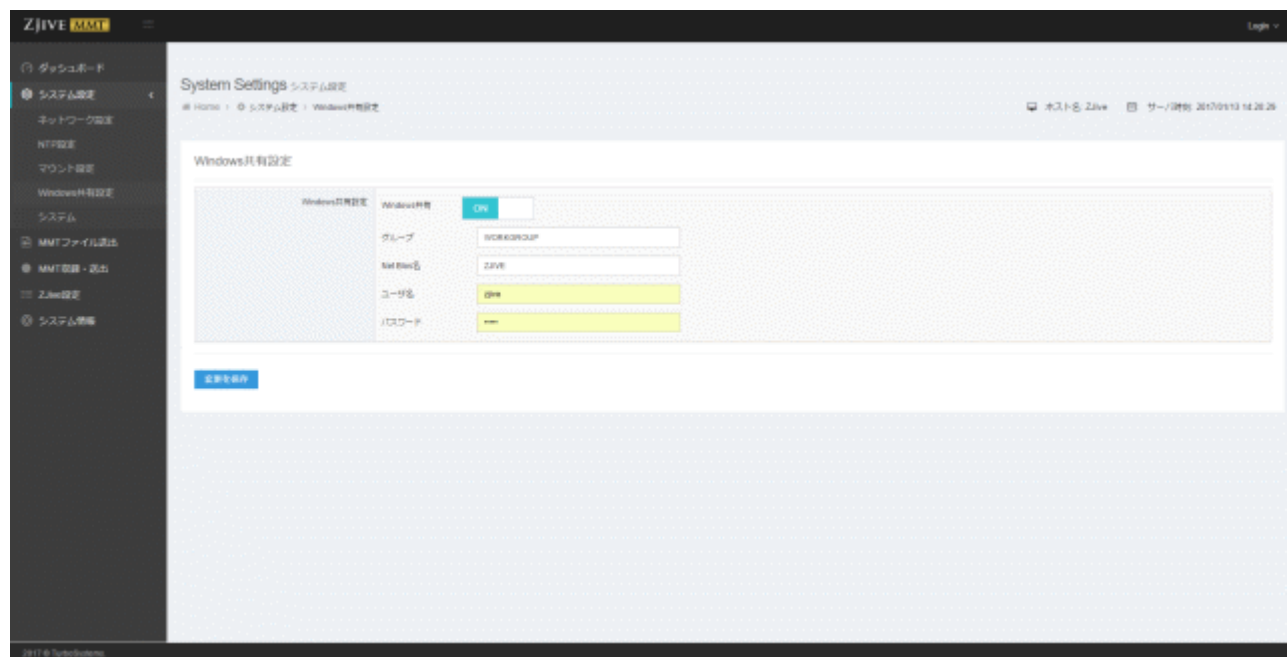
「時刻設定」メニューの設定項目は以下の通りです。

時刻設定

項目	説明
手動	手動で時刻の設定を行います。 表示されるカレンダーから年月日と時刻を選択します。
NTP サーバ	時刻同期を行う NTP サーバを指定します。 NTP1（プライマリサーバ）と NTP2（セカンダリサーバ）の指定が可能です。

設定完了後、「変更を保存」ボタンを押します。

2.6. Windows 共有設定



Windows 共有を有効にすると、同じ LAN に接続されている Windows クライアントから装置のデータ保存領域（内蔵 SSD）へアクセスできるようになります。

設定項目は以下の通りです。

項目	説明	初期値
グループ	Windows ネットワークのワークグループ名を指定します。	WORKGROUP
NetBIOS 名	NetBIOS 名を指定します。Windows ネットワークにはここで指定した名前が表示されます。	XJIVE
ユーザ名	共有フォルダへアクセスするユーザ名を指定します。	xjive
パスワード	共有フォルダへアクセスするユーザのパスワードを指定します。	xjive

設定保存後、以下の手順で本装置のデータ保存領域へアクセスします。

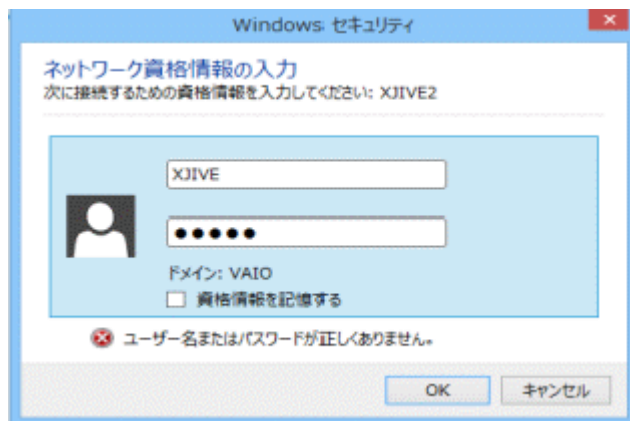
Windows エクスプローラを起動し、「ネットワーク」を表示します。

設定した「NetBIOS 名」のアイコンが表示されます。



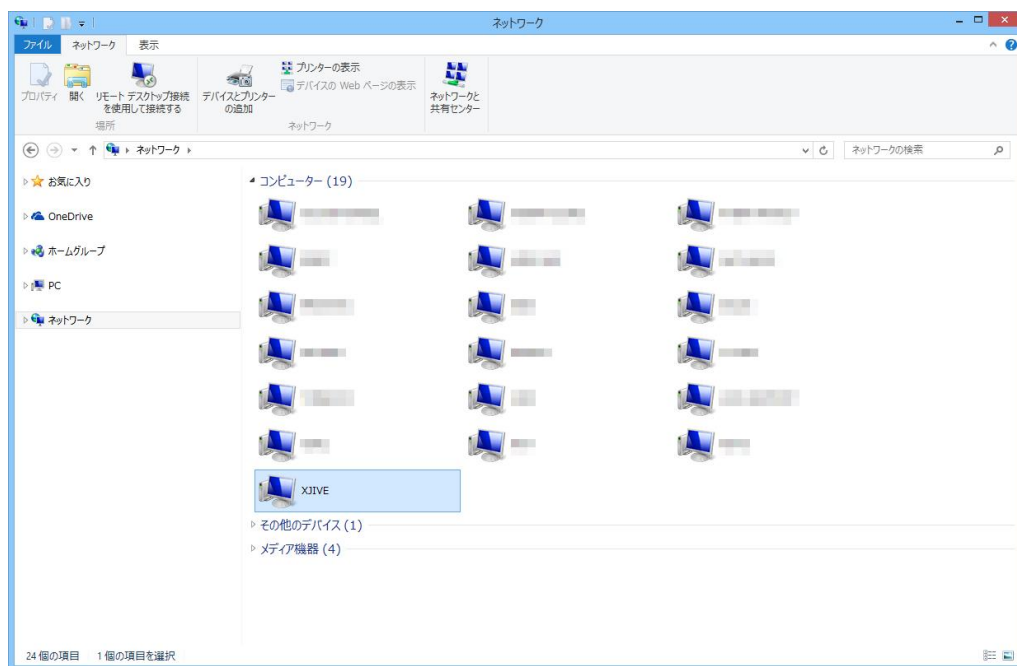
エクスプローラの場合ツールバーへ本装置の IP アドレスと共有フォルダ名（xjive）を指定してアクセスすることも可能です。以下は IP アドレスが 192.168.0.10 の例です。
¥¥192.168.0.10¥xjive

アイコンをダブルクリックして共有フォルダへアクセスします。

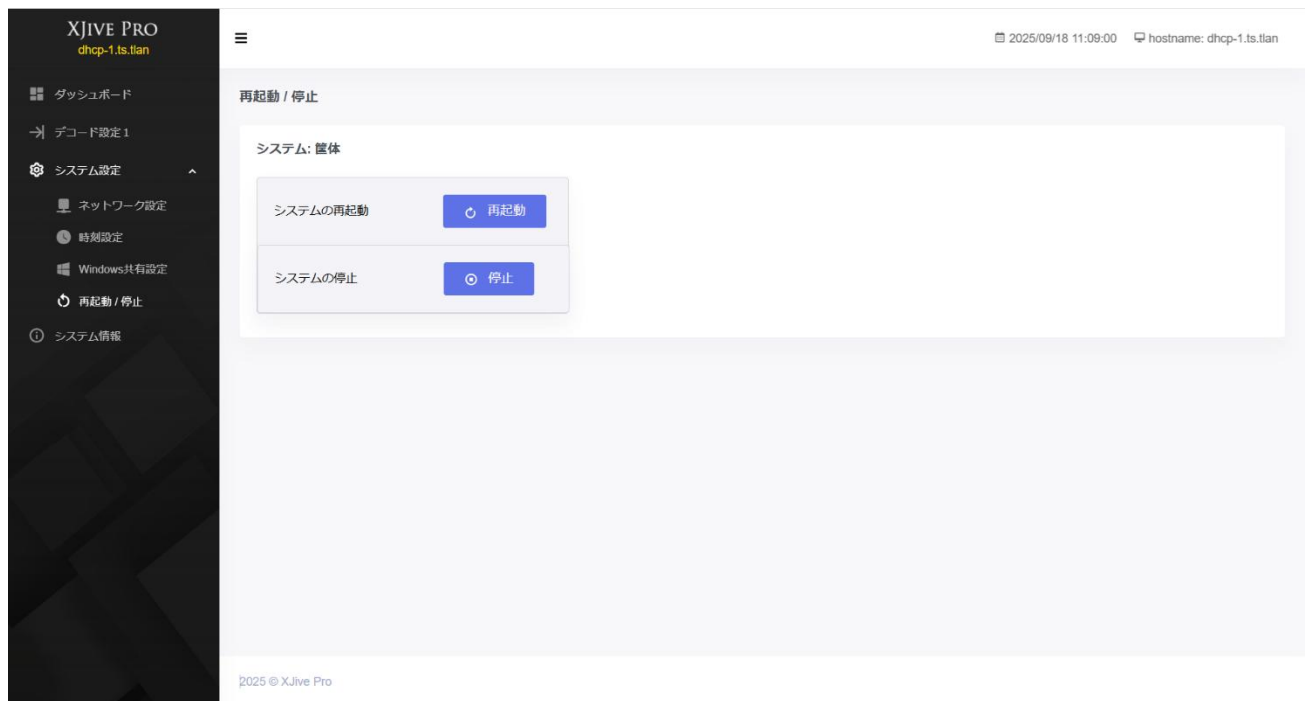


ユーザ名とパスワードを要求されますので、設定した「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、「OK」を押します。初期設定はユーザ名、パスワードともに **xjive** です。

認証に成功すると本装置のデータ保存領域（内蔵 SSD）へアクセスできるようになります。



2.7. 再起動 / 停止

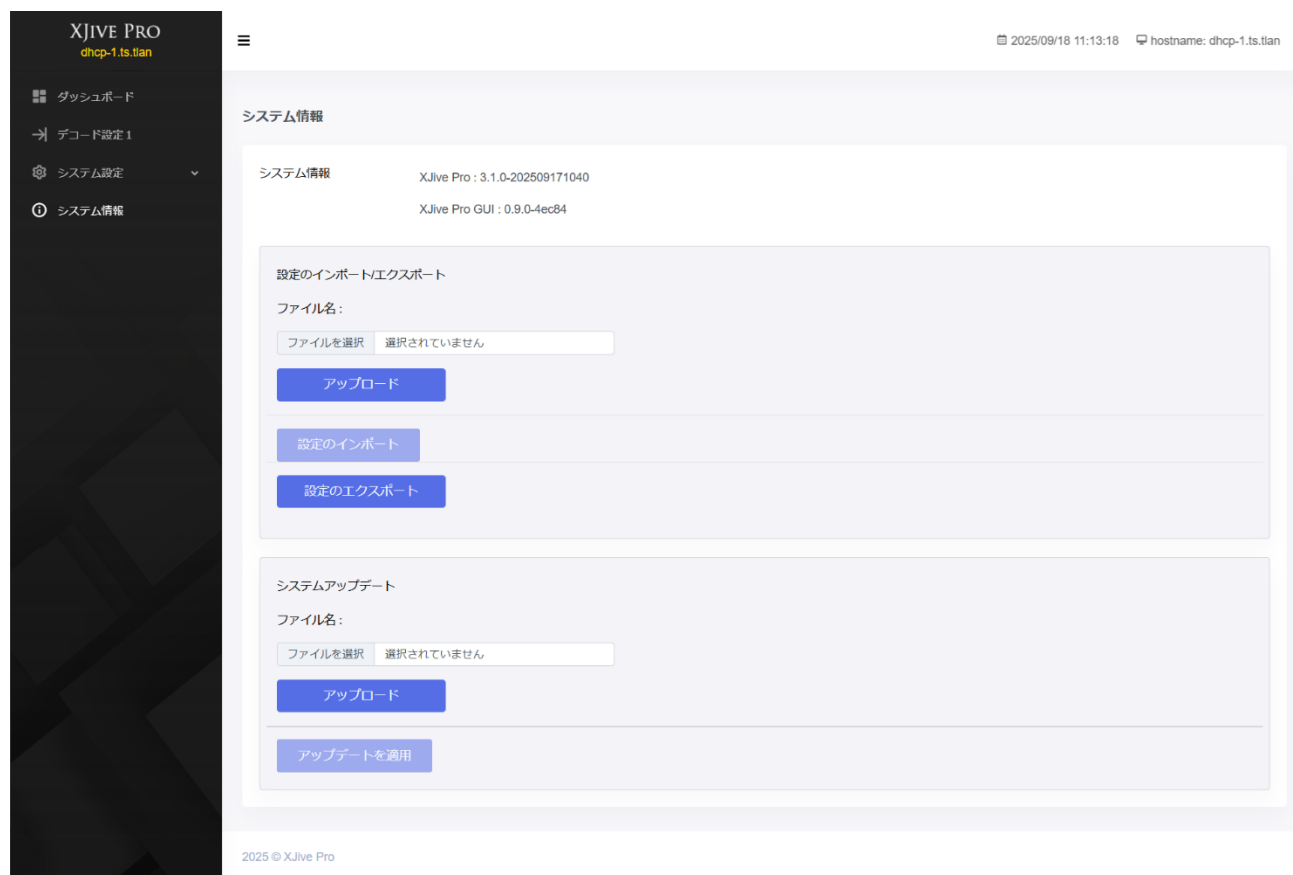


「再起動/停止」メニューの設定項目は以下の通りです。

システム : 筐体

項目	説明
システムの再起動	装置を再起動します。
システムの停止	装置の電源を落とします。

2.8. システム情報



「システム情報」メニューの設定項目は以下の通りです。

システム情報

『XJive PRO』のソフトウェアおよびウェブ管理画面のバージョンを表示します。

設定のインポート/エクスポート

現在の設定をエクスポート/インポートする事が可能です。

1. 「設定のエクスポート」ボタンを押下し、現在の設定をエクスポートします。
2. エクスポートした設定ファイルをインポートするには、「ファイルを選択」ボタンを押下し、エクスポートファイルを選択します。
3. 「アップロード」ボタンを押下します。
4. 「設定のインポート」ボタンが有効になったらボタンを押下します。
5. インポートが始まります。
6. インポートが完了するとシステムの再起動を要求するダイアログが表示されます。システムを再起動してください。

システムのアップデート

最新のソフトウェアへアップデートする事が可能です。

1. 「ファイルを選択」ボタンを押下し、アップデートファイルを選択します。
2. 「アップロード」ボタンを押下します。
3. 「アップデートを適用」ボタンが有効になったらボタンを押下します。
4. アップデートが始まります。



ターボシステムズ株式会社